

ベトナム初の都市鉄道開業

11月6日にベトナムの首都ハノイ市で、同国初の都市鉄道「ハノイ市都市鉄道2A号線」が、着工から10年を経てようやく運行開始を迎え、初日には延べ3万9,520人が乗車しました。

◆ 待望の都市鉄道

今回運行が開始した2A号線は、全長13.1キロメートルで、ハノイ市中心部のドンダー区カットリンから、南西部のハドン区イエンギアまでの12駅を結ぶ高架鉄道です。片道の所要時間は約23分で、運賃は初乗りが8,000ベトナムドン（約40円）、全区間で15,000ベトナムドン（約75円）です。市内の路線バスが初乗り～25キロメートル7,000ベトナムドン（約35円）であることを考えると、高めの料金設定と言えます。車両は4両編成で、最高速度は時速80キロメートル。当面は10～15分間隔で運行されます。



2A号線の車両



2A号線の路線と駅

◆ 大幅に遅れる都市鉄道計画。渋滞・環境問題の緩和につながるか

2A号線は2008年に建設が決まり、中国国営企業が設計・建設を請け負いましたが、土地収用の遅れ等によって着工が2011年に後ろ倒しとなったほか、その後も設計変更や工事完成後の安全確認に時間を要し、開業は着工時の予定から6年遅れました。総工費も、当初の見積りから6割増の18兆ベトナムドン（約900億円）まで膨らんでいます。

駅周辺を除けば、目的地までバスやタクシー等も利用せざるを得ず、メリットが限定的であるため、定員に対する乗車率が6.3%に留まるとの報道もありました。ハノイ市では、2030年までに都市鉄道8路線を開通させる目標を掲げていますが、日本が支援する1号線と2号線でも、当初の2010年代の完成予定がそれぞれ2024年と2027年に先送りされている等、その実現は大幅に遅れる見通しです。

「通勤ラッシュで溢れるバイク」のイメージ払拭は一足飛びには進みませんが、今後、都市鉄道とバス路線等の交通網整備によって、渋滞の緩和と環境問題の改善につながることを期待されています。

(ベトナム・ハノイ駐在 天野 翔平)

【お問合せ先】

七十七銀行 市場国際部 アジアビジネス支援室
TEL.022-211-9880

【Global Letter NEXT ホームページ】

その他の記事はこちらからご覧ください。

https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter_next/



本紙記載の内容につきましては、当行が信頼できると考える情報に基づき作成しておりますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。